



〈本校の教育目標〉

- 自学 ○進んで学習する生徒
- 品性 ○正しく品性の高い生徒
- 健康 ○健康で意志の強い生徒

〈スローガン〉「夢(目標)とあこがれ」(生徒)  
「授業で鍛え、特別活動で育てる」(教師)

【会津美里町教育委員会基本目標】

自ら学ぶ、知・徳・体のバランスのとれた「美里っこ」の育成

めざす学校像 「地域とともにあり、生徒の力を伸ばす学校」



新型コロナウイルス感染防止

- 徹底した感染防止の環境作り
- 教育課程実施の工夫と確認
- 町教委、家庭との的確な連携

■授業の充実 ～非認知能力の育成～

健康かな体づくり

- 運動量を確保した体育の授業の充実
- 食育の充実

確かな学力の定着

- 「みさとの教え」と「みさとの学び」の徹底
- 教員の指導力向上～わかる授業の実践
  - ・ふくしまの「授業スタンダード」の活用推進
  - ・ふくしま学調の結果分析による授業改善と研修充実
  - ・ICT機器の効果的な活用 (GIGA スクール)
- 個別指導の充実

豊かな心の育成

- ちがいを認め合い高めあう学級集団づくり
- 道徳の授業の質的改善と適切な評価
- 体験活動とキャリア教育の充実

■一人一人を大切にされた教育

- いじめの早期発見、早期解決
- 不登校児童生徒への支援
- 特別支援を必要とする子どもへの支援の充実
- 教育相談体制の充実

■基本的な生活習慣の確立

- 「みさと運動」の推進 ○**メディアコントロール**推進等

■「園・小・中連携プログラム」の推進

- こども園・小・中の指導方針の一貫化
- コミュニケーション力、自尊感情、セルフコントロールの育成

■地域・家庭の教育力の活用

- コミュニティ・スクールの活用**と試行的活動  
(熱議・協働、マネジメントの構築)  
(地域と学校の連携・協働体制の構築)

【本校の課題】

- ◆ 学習指導要領の趣旨にそって、深い学びを結果につなげる授業の改善
- ◆ 不登校生徒の減少と自己肯定感を高める学級集団づくり
- ◆ 肥満傾向とむし歯治療の改善及び強くたくましい心身の育成

めざす教師像  
常に使命感を持ち、指導力  
(教科指導・生徒指導等)を  
向上させる教師

重点目標  
確かな学力と学習習慣を持つ生徒の育成  
心豊かで思いやりのある生徒の育成  
心身ともに健康に努める生徒の育成

めざす生徒像 (CSより)  
・夢を持ち主体的に生きる生徒  
・思いやりを持った生徒  
・心身ともにたくましい生徒

「非認知能力」の育成を意識した取組

確かな学力と  
学習習慣を持つ生徒

【努力目標】

- 1 夢(目標)の実現に向けて、努力する意欲を育みます。
- 2 達成感や満足感を得て、探究心へつなげる授業を行います。
- 3 自分の考えや意見をもち、発表できるようにさせます。
- 4 効率的な家庭学習の方法・習慣を確立させます。

【実践事項】 **メディアコントロール力の育成**

- 1 楽しく充実した学校生活への支援
  - 生徒の取り組み過程の見取りと個に応じた支援
- 2 主体的・対話的で深い学びの実践
  - **RST(リ・ディグ・ステップ)**の結果と分析をふまえた授業改善
- 3 思考力・判断力・表現力の育成
  - 根拠を明確にした表現活動、学び合い活動の充実
- 4 **メディアコントロール**による家庭学習の質の向上への支援
  - タブレット端末を活用し、自己マネジメント力を高める指導の充実 (ICT 機器の活用)

心豊かで  
思いやりのある生徒

【努力目標】

- 5 さわやかな「あいさつ」「返事」ができるようにします。
- 6 「いじめ」のない共感しあえる人間関係を醸成します。
- 7 自己肯定感を持ち、自他の向上に貢献する意欲を育みます。
- 8 奉仕活動や体験活動へ積極的に参加する態度を育てます。

【実践事項】 **自尊感情の育成**

- 5 「みさと運動」の日常化
  - 「あいさつ」「返事」「はきものそろえ」の指導の充実
- 6 規範意識と思いやりの心の育成
  - 道徳や学活の授業の充実と **Q U結果の分析と活用**
- 7 自分に自信を持ち、共に高め合おうとする意欲付けの言葉かけ
  - 生徒会活動への積極的な参加指導と意図的な **S S Tの実施**
- 8 地域とつながるボランティアの実践と自己有用感の育成
  - 校舎内外における **体験活動**や **ボランティア活動**の充実

心身ともに  
健康に努める生徒

【努力目標】

- 9 健康な生活習慣を定着させ、**食育、安全教育を推進**し健康を増進させます。
- 10 授業や種々の活動を工夫し、強くしなやかな身体づくりを進めます。
- 11 「苦しい、辛い、いやなこと」から逃げない強い心を育成します。
- 12 「心のケア」を工夫し、悩み・不安等の解消に努めます。

【実践事項】 **基本的な生活習慣の育成**

- 9 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進とけがや疾病の防止・予防への取り組み
  - 学校・家庭の連携と自己の健康管理の啓発(治療・通院)
- 10 体育活動への積極的な参加
  - 運動の習慣化、「運動身体づくりプログラム」の活用
- 11 強くたくましい心身の育成
  - コロナ禍に対応した学校行事等の工夫と活力ある部活動の推進
- 12 教育相談等の活用
  - S Cや相談員を活用し、不登校を減らす取り組み(例: ケース会議)

教育目標実現のための P-D-C-A サイクル

【PLAN (計画)】

- 情報の収集
  - 生徒や保護者、地域の方の考えや願い等をよく聞きとり、課題を明確にする。
  - 課題解決のための目標と手立てを、評価も考えて12の観点で設定する。

【DO (実践)】

- 実践事項の遂行
  - 生徒、教師、保護者で実践事項を共有化し、課題解決に向けて取り組む。
  - Web ページ、学校だより、学年だより、保健だより等で学校の様子を知らせる。

【CHECK (評価)】

- 評価の実施
  - 12の項目について教師、生徒、保護者の立場から評価する。

【ACTION (改善)】

- 改善に向けた取組
  - 評価結果と改善策を学校だより等で保護者に知らせる。
  - 学校評議員、学校改善委員からの意見を改善策に活かす。

1 学年目標

中学生としての自覚を持ち、責任ある行動ができる生徒

2 学年目標

中堅学年としての自覚を持ち、自主的に集団生活の向上に努める生徒

3 学年目標

高い理想に向かって、主体的に行動するたくましい生徒